

岡野、魚谷両市議市民要望かけ論戦

日本共産党市議会議員団 週刊議会報告

発行
日本共産党市議団
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810

総務経済委員会

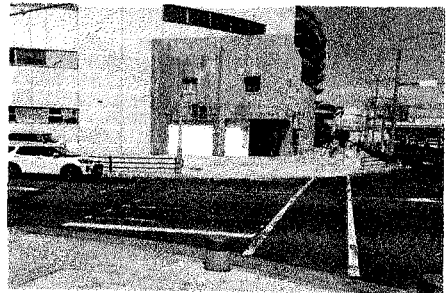
総務経済委員会は14日の午後開催され、共産党の魚谷さとる市議は、議案では一般会計補正予算、因島学校給食調理場建設の工事請負契約について質問。また、委員会が所管する事務については、尾道市の人口減少の現状や横断歩道の補修、公共施設の削減計画、南海トラフ地震後の防災施設、福屋撤退後の取り組み状況などについて質問しましたが、その一部を紹介します。

予定価格の99.9%で因島の業者が落札

委員会では魚谷さとる市議は、因島だと答えました。魚谷市議は入札率は99.9%で、不自然に思えると質問すると、建設部長は見積りする単価などが公表されているので近いものになると答えました。直近の工事で一億円を超える建設費の入札率を聞くと、91.2%だと答えたので、市の言い分の違いを指摘しました。

消えた横断歩道の補修 年間122ヶ所

魚谷市議は、9月議会を取り上げた消えた横断歩道の問題で、移動中に各所に見られることから、改めて質問、要望を行いました。



駅前派出所前の消えた歩道

警察署に問い合わせ、尾道警察署が県警、公安委員会に要望している件数などを尋ねましたが、明確な回答が帰

市内の横断歩道の状況

- ★市内の横断歩道の数 1392ヶ所
- ★昨年の補修数 122ヶ所

り、第一義的には横断歩道を設置した県警察署に管理責任が有るが、市としても市民の安全を守る立場から職員による定期的な点検を行うよう求めました。

福祉環境委員会

岡野長寿市議は9月13日の福祉環境委員会で①10月から始まるインボイス(適格請求書)制度で、小規模事業者が負担を押し付けられることにならないのか。水道事業、病院事業、シルバー人材センター事業について、②保険証を廃止し、マイナンバー健康保険証に誘導しようとする問題点を指摘し、改善を求めました。

インボイスで小規模事業者に負担を押し付けられないように

岡野市議は、インボイスでどんなことが起きようとしてくるかスナックのママとお客のやりとりを紹介しました。「領収書はこれまでのものではあかん。インボイスに対応したものにして」と言われ、途方にくれるママ。「こんなことが造船の元請けと下請け業者との間など尾道の各所で起こっています」。

健康保険証を廃止しないよう国に訴えて欲しい

マイナ保険証は便利になる面もあるが、危険もある。だから先進G7各国で採用しているのは日本だけ。他の国では、プライバシーを侵害するおそれがあるとして制度化していない。情報が乱用されプライバシーが侵害されている例として、住民基本台帳の氏名、住所が本人の同意なしに自衛隊に提供されている事例をあげました。

同市議は「まさか私の個人情報も帯広市から自衛隊に提供されていたとは(飲食業を営む26歳の女性宮崎さん)」。昨年9月ごろ自衛隊員が自宅を訪問。名前も知られていて「たこと恐怖を感じ警察に相談した」という記事を紹介し、担当課長は「20数社は課税業者なので問題は起こっていない」と答弁。同市議は「小さな工事では非課税業者と取引することもある。その時には、独禁法により優越的な地位を乱用する行為は注意を受けている」と訴えました。尾道市でも個人に無断で住民基本台帳の個人情報自衛隊に提供しているのか質しました。すると担当課長は悪びれず肯定したのです。同市議は、自衛隊法および施行令、通達に「協力できる」とあるからといって、同意なしに可能だとはどこにも書いていない。同意なしに目的外使用することは憲法13条のプライバシー権、個人情報保護法(条例)に違反し、個人の尊厳を踏みにじるもので許されないと指摘しました。その上で、今日はその問題の是非を論じるつもりはない。マイナンバーカードの危険性の問題として、様々な情報を横並びに集積することによって、個人の知らない間にそれが悪用されるおそれがある。私は、個人の情報が悪用される危険を感じると述べ、健康保険証の存続を国に求めるよう要請しました。